

# 1 「さいたま市図書館の利用に関するアンケート」集計結果について 質問・意見に対する回答

議題・報告事項	質問・意見内容	質問者	回答	回答者
p.2 6 回収結果	来館者の自主記入によるアンケートということで、各館により回収状況にばらつきがあるのは、止むを得ないと思いますが、総じて、入館者数に対する回収率はあまり高くない様です。	木村委員	今回の「さいたま市図書館の利用に関するアンケート」は、コロナ禍における初めてのアンケートとなりました。「三つの密」を避け、利用者へのお声を控えたこと等が回収率に表れたものと思われます。	桜図書館長 (資料案内専門部会長)
	入館者の割に回収件数が少ないのに驚き、残念に思います。 アンケート回答の呼びかけに工夫が必要かと思えます。	小澤委員		桜図書館長 (資料案内専門部会長)
	アンケートの回収率について 期間中の入館者数に対して回収率が1%程度というは少ないような気がします。 アンケートへの協力を積極的に呼び掛けてみてはいかがでしょうか。	驚見委員		桜図書館長 (資料案内専門部会長)
p.6 アンケート集計結果の分析 問1	来館者を対象としたアンケート結果だけでなく、もっと広く市民を対象にアンケートをとって見たらどうですか？	志村委員	アンケートにつきましては、インターネットによるアンケートも視野に入れ、検討を重ねているところでございます。	桜図書館長 (資料案内専門部会長) 東浦和図書館長 (資料案内専門部会副部会長)
p.7 平日、土日祝の年齢別回答数	意外と土日祝の利用者が少ないですね。図書館では、祝日開館にしていますが、平日の利用者の方が多ければ、敢えて祝日開館にしないでよいのでは、と思います。	小澤委員	「平日、土日祝の年齢別回答数」につきましては、来館者のうちアンケートにご回答いただいた数でございます。平日と土日祝の入館者数を令和2年2月の例で比較しますと、平日平均が732人/日、土日祝平均が1,083人/日となっております。	桜図書館長 (資料案内専門部会長) 東浦和図書館長 (資料案内専門部会副部会長)
p.8 電子書籍を利用するかの問いについて	来館者へのアンケートでは、紙媒体を好む方の割合が多いと思うので、利用率は低くなるのは当然だと思います。 質問内容を変えてみてはいかがでしょうか。	驚見委員	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、図書館に来館せずに読書が出来る電子書籍について、今回周知も含め選択項目の一つに加えてみました。	桜図書館長 (資料案内専門部会長)
p.8 問3 p.9 問4	図書館利用について 「職員に質問・相談する」項目は、「よく利用する」のが低目ですが、「職員の対応や説明」項目は、利用してみれば相談しやすいと理解できたと思うので、とても良い事です。	神谷委員	ありがとうございます。今後も丁寧に分かりやすい対応や説明を心掛けます。	桜図書館長 (資料案内専門部会長)
pp.10~11	図書館を利用する人は年代的にも偏りなく多くの人が利用してその評価も満足しているというものである。 力を入れてほしい取り組みについてはやっぱり資料の量の充実が最も多い要望となっている。 今後も重点事項として多くの本を収蔵に力をそそいで欲しいです。	馬場委員長	「所蔵資料の量の充実」とこれに続く「所蔵資料の質の充実」の取り組みとして、計画的に資料を収集し、幅広い蔵書を整備していきます。	桜図書館長 (資料案内専門部会長)
p.11 今後力を入れてほしい取組について	所蔵資料の量の充実、質の充実への希望が多いですが、多くの方々のニーズにこたえるためにどんな工夫をしていますか。	小澤委員	毎週選定会議を開催し、新着資料のチェックをし、必要な資料の買い漏れや重複などが無いよう調整しております。また社会のトレンドを知り、予約やリクエスト・レファレンスの受付を通して、求められる資料の把握に努め、資料購入の際に参考にしております。	桜図書館長 (資料案内専門部会長) 東浦和図書館長 (資料案内専門部会副部会長)
p.13(14)	小さい子どもがゆっくり本を読める場所を作ってほしい →同感です。特に中央図書館の子ども室は落ち着きません。スペースの工夫をぜひお願いしたいと思えます。	大井委員	中央図書館の児童コーナーは、限られたスペースの中で、座席や床で読書をできる場所を設けています。落ち着かないとのお指摘については、改善に向けて検討してまいります。	資料サービス課長

# 1 「さいたま市図書館の利用に関するアンケート」集計結果について 質問・意見に対する回答

議題・報告事項	質問・意見内容	質問者	回答	回答者
p.14 6(1)	職員・スタッフに差がある →全体のレベルアップを望みます。研修の充実を。	大井委員	研修の内容や頻度等について、充実をはかってまいります。	桜図書館長 (資料案内専門部会長) 東浦和図書館長 (資料案内専門部会副部会長)
pp.16～35	この集計結果から、断定的な結論を引き出すのは難しそうですが、それでも、図書館別集計結果を仔細に見ていると、各館の状況の違いが、少しずつ見えて来ます。 回答された利用者は、皆さん、全館を利用しているわけではなく、各々、自分の利用する特定の施設について回答していると思われるので、各館の施設の状況、資料の量、職員の対応の違いが、アンケート結果に表れています。	木村委員	図書館サービスの向上を目指し、「さいたま市図書館の利用に関するアンケート」の内容について検討し、利用状況の把握に努めていきます。	桜図書館長 (資料案内専門部会長)
p.23	職員に質問、相談しやすい、とは感じません。中央図書館では、レファレンスカウンターの人数を増やしてほしいと思います。(ちゃんと対応できる職員を！)	大井委員	「職員に質問、相談しやすいとは感じない」というご指摘につきましては、出来る限り、尋ねやすい環境となるよう努めてまいります。中央図書館のレファレンスカウンターについては、限られた人数で運用しているため、すぐに増員するというのは難しいですが、今後の運営の参考としてまいります。	資料サービス課長
p.24 9	「電子書籍を利用する」 全体的に利用しない人が多い。使い方がわからない人が多いのだと思います。「電子書籍の使い方」と大きく目立つように掲示するのも一案かな？(掲示してある場合はすみません、私は気がついていません)	神谷委員	図書館ホームページの以下のページで利用方法のご案内をしております。 ● <a href="https://www.d-library.jp/saitama/g0108/infodetail/?iid=1">https://www.d-library.jp/saitama/g0108/infodetail/?iid=1</a> ● <a href="https://www.lib.city.saitama.jp/images/upload/電子書籍サービス利用案内(A4版カラー).pdf">https://www.lib.city.saitama.jp/images/upload/電子書籍サービス利用案内(A4版カラー).pdf</a> こちらでは、使い方も紹介しています。 <a href="https://www.lib.city.saitama.jp/kidscontents?4&amp;pid=3117">https://www.lib.city.saitama.jp/kidscontents?4&amp;pid=3117</a> また、電子書籍を借りられることの周知が足りないと考え「読んでる？電子図書館」(QRコード付)のポスターを掲示しております。	桜図書館長 (資料案内専門部会長)
p.35	武蔵浦和図書館への要望が多いのは立地から見ても期待の表れだと思います。駅前に新たなマンション建設の予定ありと聞きます。今後のサービス展開がさらに課題となりますね。	大井委員	武蔵浦和図書館周辺は、交通や生活利便性が高く、人が行き交う賑わいのある地域です。また公共施設サウスピア内にあることから幅広い年齢層に利用されております。今後も、新たな共同住宅が建設される等、更なる人口増加も見込まれます。地域の図書館として課題解決へのサポート、交流の場の創出など、多様性を重視しながら、人口増加にも対応できるよう、サービスを展開したいと考えております。	武蔵浦和図書館長
p.38	「経年比較結果」はたいして変化なし。やはり使い慣れた方法で、図書館利用をしているのだと思います。	神谷委員	委員のご指摘のとおり、「使い慣れた方法で図書館を利用している」という傾向が分かることも、重要であると考えております。	桜図書館長 (資料案内専門部会長)
p.41 おはなし会・講座等に参加する	利用の割合が低いのが残念ですね。 アンケート回答者50代以上の年齢を対象とした企画に、工夫があると良いのかもしれない。	鷲見委員	新型コロナウイルス感染症が収束するまで、イベントの積極的な開催が難しい状況でした。オンラインでのイベント開催に取り組むとともに、イベントに参加すれば仲間と出会うことが出来る、本と人をつなげる企画を考えていきます。様々な年代を対象とした企画についても、検討してまいります。	桜図書館長 (資料案内専門部会長)

# 1 「さいたま市図書館の利用に関するアンケート」集計結果について 質問・意見に対する回答

議題・報告事項	質問・意見内容	質問者	回答	回答者
p.48	<p>さいたま市の図書館全体としては概ねp.48に纏められた様な結論に帰結すると思いますが、せっかく各館で回収されたアンケート結果ですから、各館独自の肌理細か [きめこまやか] な分析を施し、サービスに反映させることが望ましいと思います。特に、意見として記入された件については、その館で運営に携わる職員ならば思い当たるとい問題もあると思います。施設の設備や蔵書量といったハード面は、さいたま市図書館組織全体の力で取り組むべき問題ですが、一方、職員の対応や資料の差がしやすさ、予約システム等のソフト面については、各館独自の努力によって、解決策が見出せることもあるでしょう。特に気になる点については、各館独自でアンケート調査を行っても良いと思います。</p> <p>最後に、入館者数に対する回答率が特に高かった館（片柳、岩槻駅東口等）では、何か、特別な努力をされたのでしょうか？</p>	木村委員	<p>いただいたご意見について、改善を行っている事例がございます。</p> <p>例：建物の外にある返却ポストに蜘蛛の巣が張っている。</p> <p>【対応】 蜘蛛の巣を除去。同じ場所に巣を作るので、定期的に見て、巣を取り除いています。</p> <p>ハード面とソフト面についてのご意見は、今後の検討課題とさせていただきます。</p> <p>次に「入館者数に対する回答率が特に高かった館」についてですが、岩槻駅東口図書館では、窓口スタッフが貸出や返却の際、利用者にお声がけしたこと、近隣の七里図書館がこの期間閉館中であったことが、多くの利用者にアンケートへのご協力を頂けたものと考えております。</p> <p>また、片柳図書館におきましても同じ見沼区内の七里図書館が施設修繕により休館していたため、七里図書館を利用していた方が予約資料の受取館として片柳図書館を利用するようになったこと等、それまで片柳図書館を利用していなかった多くの方がアンケートに協力して頂いたためと思われます。</p>	<p>桜図書館長 (資料案内専門部会長)</p> <p>岩槻図書館長 春野図書館長</p>
その他	<p>まず始めに、コロナの甚大な影響下の中でご尽瘁されておられる皆様のお力に深く厚くお礼と敬服を申し上げます。</p> <p>近日、いつも活用させていただいております"桜木図書館"と"大宮図書館"に行きその惨状に愕然としました。</p> <p>コロナの収束後、どうなるのでしょうか。特に子供たちへの"読書習慣""読書意欲"は回復するのでしょうか。</p> <p>まずは教育関係者が総力を挙げて取り組まねばならず喫緊の命題ですね。</p> <p>皆様一致協力して、この難題に挑戦しましょう。</p>	松岡委員	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、図書館を含む生涯学習関連施設は、利用制限を行わせていただきました。</p> <p>子どもたちへは、「さいたま市子ども読書活動推進計画」（第四次）を推進し、読書への関心を高める働きかけをしていきます。</p>	<p>桜図書館長 (資料案内専門部会長)</p>
その他	<p>さて、このアンケート集計結果には特段の異論はありません。本当におつかれさまです。明確に分析されています。ありがとうございます。強いて申し上げれば、地域によって所蔵資料の量の充実を望む声に落差があるのにビックリです。切望する資料がないのは図書館として致命的です。ぜひ充実を努めてくださいね。</p> <p>行政が多様化する中で施策の優先度が低くなりがちなのを、知的欲求度のレベルも又、多様化し、レベルアップしていき、その文化度も多様化しますので、よく吟味していただき、対応方をよろしく願いたします。</p> <p>(例) 片柳、武蔵浦和、大宮東、南浦和等々</p>	松岡委員	<p>図書館により、規模や環境等の違いはありますが、蔵書資料の充実は「地域の知の拠点」として使命を果たすための重要な要素であることには変わりません。力を入れて取り組んでいきます。</p>	<p>桜図書館長 (資料案内専門部会長)</p>

## 2 「第2期さいたま市図書館ビジョン（素案）」について 質問・意見に対する回答

議題・報告事項	質問・意見内容	質問者	回答	回答者
p.1 第1章 1	「人が成長し～」全くそのとおりです。その「人」＝主権者たる市民と考えますが、街づくりを共にする、という役割を、図書館員は常に念頭においてほしいと思います。サービスにあたる姿勢にも関わってくると思います。	大井委員	ありがとうございます。 市民の皆様のお知恵をお借りしながら、進めてまいります。	北図書館長 (図書館ビジョン実施計画作成部会 部会長)
pp.1~2 第1章 2~4	ここまでの成果・弱点、届かなかった理由等を精査し、認識する必要があると思います。また、教育といえば学校、学校教育偏重の傾向は否めません。それを埋める方向性をもっと打ち出してほしいと思います。	大井委員	ご指摘に沿って、子どもたちにとっての拠点である学校と連携をとりつつ、家庭や学校に次ぐサードプレイスとしての図書館の役割も拡大してまいりたいと考えております。	北図書館長 (図書館ビジョン実施計画作成部会 部会長)
p.1	新しいビジョンについて、よく理解できると、分かりやすく纏められていると思います。中でも注目したいのは、「新しい図書館とは」(p.1)で触れられている「障害者、経済的困窮者等の社会的弱者、外国人への学びの保障」で、公共図書館ならではの大きな使命として、ぜひ力を入れて取り組むべき課題だと思います。情報所得能力には、人によって大きな格差があり、個人でパソコン等を駆使して多くの情報に触れることのできる人も居れば、全く、そのような手段を持たない人も居ます。個人では困難な学びの機会を、あらゆる人々に等しく提供できるところに、公共図書館としての大きな存在価値があると思います。	木村委員	ありがとうございます。 さいたま市図書館も以前よりバリアフリーサービスを展開しておりますが、まだまだ行き届かないと考えております。 また、いわゆる社会的弱者のみならず、取得できる情報の多少によって生活に影響するものと考えます。公共図書館として今後より力を入れるべきものと考えております。	北図書館長 (図書館ビジョン実施計画作成部会 部会長)
pp.3~6 第2章全体	「知の広場」いい言葉ですね。ほんとうにこうあってほしいと望みます。 大切なのは、知への敬意と探求心を育てること。手段方法、リテラシーは大切です。丁寧な周知とともに、「広報」だけでなく「広聴」もしっかりと行うべきと考えます。	大井委員	ありがとうございます。 広く市民の皆様の声を反映するよう、取組んでまいります。	北図書館長 (図書館ビジョン実施計画作成部会 部会長)
p.3	統一した基本理念～いいですね。 "本と人"、人と人が出会う「知のひろば」。ぜひさいたまの知的文化度の昂揚のため、実践していきましょう。	松岡委員	ありがとうございます。 今後、試行錯誤があろうとは思いますが、実践してまいりたいと考えております。	北図書館長 (図書館ビジョン実施計画作成部会 部会長)
p.3	基本理念の「知のひろば」として、「図書館の資源を活用するだけでなく、それぞれの知を持ち帰り、分け合い、活動する場」(p.3)という考えは、すばらしいと思います。しかしながら、現在の社会状況では、残念なことに、様々な出会いが制約を受けて、活動が困難になっていますので、「交流」を求める打開策としては、オンラインシステムの活用を、さらに充実させていく必要があるでしょう。	木村委員	ありがとうございます。 今年度、市内の高校生によるおすすめ本のPOPバトルを実施する際に、初めての取組として、オンラインによる投票を行いました。 また、一部の図書館ではオンラインによる講座も開催しました。 今後はオンラインによる講座の開催などの取組を多くの館で実施する等、市民の交流の場を設けてまいります。	北図書館長 (図書館ビジョン実施計画作成部会 部会長)
p.3	「本と人、人と人が出会う知の広場」という概念を実現するためにはいろいろな方法、試作が考えられると思いますが、皆さんからの知恵を結集して進めていって欲しいと思います。	馬場委員長	初めての取組が多くなりますので、市民の皆様のお力をお借りしながら、進めてまいりたいと思います。	北図書館長 (図書館ビジョン実施計画作成部会 部会長)

## 2 「第2期さいたま市図書館ビジョン（素案）」について 質問・意見に対する回答

議題・報告事項	質問・意見内容	質問者	回答	回答者
p.5	①知りたいことにこたえる②本と人をつなげるは本来の図書館業務の充実という方向で考えられますが、④つながりから未来をひらくという取り組みについては教育機関や多方面との連携による活動が必要になると思います。時間も努力もかなり必要と思いますが、期待しています。	小澤委員	ありがとうございます。 基本的方向性4にお示ししましたとおり、図書館司書がコーディネート力を発揮して、地域の皆様をつなぎ、新しい可能性の発現につなげていきたと考えております。	北図書館長 (図書館ビジョン実施計画作成部会 部会長)
pp.9~13	各図書館の重点目標(p.9~13)では、各館の特色が興味深く、独自の重点目標への取り組みが期待できます。しかしながら、利用者にとって、実際に足を運べる館は限られていますので、より多くの利用者が、これらの取組みを享受する為には、やはり、オンラインシステムの活用が不可欠でしょう。	木村委員	今後はオンラインでの取組が重要になってくると考えております。ただ、出版物をオンラインで紹介することは著作権や公衆送信の規制があり、難しいのが現状です。どのような取組ができるか模索してまいります。	北図書館長 (図書館ビジョン実施計画作成部会 部会長)
その他	コロナ禍における図書館のあり方や利用の仕方をどうしていくかを今後考えなくてはならない気がします。 基本理念：本と人、人と人が出会う「知のひろば」は、すばらしいと思います。 図書館の横断的な活動、ダイナミックな活動の展開とありますが、さらに具体的にどのような活動なのか知りたいです。期待しています。 図書館に行きたくても、なかなか行けない状況があります。ICTの先端技術を活用し、家庭でも職場でも図書館を利用できるシステムがあればうれしいですね。	志村委員	来館サービスと来館せずに利用できるサービスの両面にわたって、今後できる取組を模索しながら進めてまいります。	北図書館長 (図書館ビジョン実施計画作成部会 部会長)
その他	「知の広場」を担うレベルの高い職員の確保、育成、自己学習の保証は必要です。	大井委員	ご指摘のとおりです。職員の育成に取り組むとともに、自己学習にも意欲的に取り組んでいけるような環境を考えてまいります。	北図書館長 (図書館ビジョン実施計画作成部会 部会長)
その他	パソコン、スマートフォンなど便利な機材だけでなく、活字文化と紙の本の持つ意味、それを手渡す人と受け取る人とのつながりも、大きな要素です。	大井委員	機器を持たずに情報を得、長く使用することができる図書が存在意義は、今後も変わらないものと考えております。また図書の良さを伝えるのも図書館の役割と考えております。	北図書館長 (図書館ビジョン実施計画作成部会 部会長)
その他	郷土史、土地の成り立ち、生活実感、住民感情などへの目配りもお願いしたいと思います。広いさいたま市、地元の事情や状況は様々だと思われます。	大井委員	この図書館ビジョンでは、各図書館の特長や取組について記述しています。それぞれの図書館が地域の知の拠点であり続け、さらに後世につなげることを各館で改めて確認いたしました。	北図書館長 (図書館ビジョン実施計画作成部会 部会長)
その他	図書館に来ない方、行きたくても行けない方への配慮はさらに必要です。 特に子どもは、遠くて行けない、連れて行ってくれる大人がいない、言っても本をすすめ、手渡してくれる児童サービスに明るい職員に会えない等、特有の事情があります。それを解決してください。子どもが本を読まないのは、「読みたくても読めない」理由があると考えるべきです。	大井委員	司書が図書館内にとどまらず、地域に出ることや地域の皆様と協力して子どもたちに本の楽しさを伝えていきたいと考えております。子どもが、本を「読みたくても読めない」理由があるのご指摘については、様々な理由について、どうすれば解決できるか検討してまいります。	北図書館長 (図書館ビジョン実施計画作成部会 部会長)

## 2 「第2期さいたま市図書館ビジョン（素案）」について 質問・意見に対する回答

議題・報告事項	質問・意見内容	質問者	回答	回答者
その他	このコロナ禍の下、私たちの生活は一変しました。ビジョンを作成するにあたり必要な、図書館利用の最近の現状と傾向が見られない中で、ここまでまとめ上げられたことに敬意を表します。基本理念であります「本と人をつなげる」「人と人が出会う」ことが難しい今、さいたま市の文化の拠点として図書館にはなお一層の存在意義を示すことが求められていると思います。25館の特長ある地域の図書館としてもあり方が、政令指定都市の中でもトップの方で統計にあげられていてうれしく思います。人口1人当たりの来館回数が多いというところに出ているように思います。	加藤委員	ありがとうございます。これからも様々な取組を市民の皆様のお力をお借りしながら、進めてまいりたいと思います。	北図書館長 (図書館ビジョン実施計画作成部会 部会長)
その他	1 基本理念 2 基本的方向性 とてもすばらしいと思います。各図書館の取組みにも参加、協力していきたいです。	神谷委員	ありがとうございます。 ご協力お願いいたします。	北図書館長 (図書館ビジョン実施計画作成部会 部会長)
その他	この(素案)を見ていて、これから先の図書館がとても楽しみに思えてきました。 情報社会が進む中、図書館という「知の拠点」としての役割は、さらに重要になると思います。第2期のビジョンが確実に実行され、私たちが情報や知識をいつでも自由に享受できるように、取り組んでいただきたいと思います。	驚見委員	図書館の使命である「地域の知の拠点」の役割を果たすためにも、市民の皆様へサービスがいきわたるよう、進めてまいります。	北図書館長 (図書館ビジョン実施計画作成部会 部会長)
その他	"市民との交流の場"ぜひ実現したいですね そのためには図書館におられる学芸員の方々の持つ碩学を活用させていただきたいのですが、そのための具体的手段が不明なものが多いのですが、それらへのアプローチをご教授くだされば幸甚ですが……。	松岡委員	すぐに始められる交流の場としては、各種の講座、映画会、おはなし会等の行事にあわせて、市民のみなさんと交流していただく時間を設けることを考えております。そうした場で、関連する資料の紹介など図書館司書の力を発揮してまいりたいと思います。司書の活用については、各図書館でご相談いただければと思います。	北図書館長 (図書館ビジョン実施計画作成部会 部会長)
その他	本を所蔵して、座して待つだけの前近代的図書館から、時代の持つ知的欲求にアタックできる一歩へ進めるにはどうすべきなのか考えましょう。その一つとして、公民館等での学習会等へ、図書館の専門職の方々がより積極的に参加、参画することが肝要ですね。生涯学習への道はまだまだ奥深いですよ。	松岡委員	御提案ありがとうございます。市民のみなさまの身近な拠点として、公民館との連携も図ってまいります。	北図書館長 (図書館ビジョン実施計画作成部会 部会長)
その他	苦言を申し上げて誠に恐縮ですが、責任と自覚のある回答をいたすために無記名でいいのでしょうか……私は疑問ですが！	松岡委員	申し訳ございませんでした。確かに松岡委員の仰る通りでございます。今後、回答用紙等につきましては記名欄を設けるようにいたします。	図書館協議会事務局 (中央図書館管理課 企画・調査係)

## 2 「第2期さいたま市図書館ビジョン（素案）」について 質問・意見に対する回答

議題・報告事項	質問・意見内容	質問者	回答	回答者
その他	<p>書籍の価値及び図書館の価値を認めつつも、これほどまでにデジタルのデータが身近に溢れ、瞬時に様々に検索し得る現代にあって、図書館が保障するという「だれ一人取り残さない学習機会」をいかにして提供していくのか、難しさを感じます。</p> <p>特に若年層の多くが、自ら図書館に足を運ぶことをしないとすれば（「さいたま市図書館の利用に関するアンケート集計結果」より）、来館するもののみ学習機会を提供することにならないか、「だれ一人取り残さない」とする精神を実現できるか、心許ないところです。</p>	関田委員	<p>さいたま市図書館では、電子書籍の導入や各図書館作成の動画配信など、来館せずに利用できるサービスの充実を図っているところです。</p> <p>今後は、さらにコンテンツの充実、広報の拡大などを図ってまいります。</p>	<p>北図書館長 （図書館ビジョン実施計画作成部会 部会長）</p>
その他	<p>図書館利用者が、今後も普遍的に年齢に応じて増加するのであれば、生涯学習に資する役割は大きいとしても、そうでないとするならば、その役割そのものを失う可能性すら感じます。</p> <p>民間企業である書店が激減する中で、公共事業としての図書館が、その存在コストに見合った価値を発揮していなければならない、やがて淘汰されていく可能性を否定できません。</p> <p>前述のアンケートの回答数の年代別構成が、図書館利用者の年代別構成に近いものであるとすれば、未来に向かって図書館が果たすべき役割は高齢者層の生涯学習拠点でしょう。しかし、今後の「ビジョン」が若年層までを含んで「知のひろば」を目指すのであれば、子どもから青年期までの利用者を激増させるくらいの斬新なアイデアが無ければ、その実現は困難ではないでしょうか。</p> <p>「来館」にこだわらないのであれば、相応の取組をもって「ビジョン」に近づくことは可能かも知れません。</p>	関田委員	<p>今後も新しい取組が求められますが、市民の皆様と協働し、様々な年代の方々にサービスがいきわたるように進めてまいります。</p>	<p>北図書館長 （図書館ビジョン実施計画作成部会 部会長）</p>

### 3 「第2期さいたま市図書館ビジョン実施計画（案）」について

議題・報告事項	質問・意見内容	質問者	回答	回答者
以下、p.4 3 「第2期さいたま市図書館ビジョン実施計画（前期）」の構成の図に示された項目に係る質問です。				北図書館長 (図書館ビジョン実施計画作成部会 部会長)
1(1)レファレンスサービスの充実による市民の課題解決の支援	ずっと気になっておりますが、レファレンスという言葉は業界用語のようなもので、こなれていません。適切な言い換えをして、市民に広めてほしいと思います。 同時に、感じ良い接遇をはじめ、レファレンスに応えられる力量ある職員が増えることを期待します。	大井委員	今回、図書館ビジョン作成にあたって、レファレンスの言い換えとして「調査相談」等の言葉も考えましたが、それぞれの市民の皆様の立場によって、意味の捉え方に違いがあることに気づきました。それならば、「図書館のレファレンス」という言葉が皆様に普及することが図書館の発展につながると考えました。 職員の育成にも努めてまいります。	北図書館長 (図書館ビジョン実施計画作成部会 部会長)
1(2)市民の課題解決に役立てられる資料の提供	当然のことですが、最先端科学、評価の定まらぬ研究分野等の資料収集には細心の注意を。図書館としての力量が問われます。	大井委員	注意をはらうよう心掛けてまいります。	北図書館長 (図書館ビジョン実施計画作成部会 部会長)
1(3)図書館利用に障害のある方への支援	外国籍住民（もちろん子どもも含む）へのサービスはぜひ、積極的にお願いします。 さいたま市の図書館が、他市町村図書館のリーダー的存在であってほしいと思いますし、期待されているのではと。	大井委員	さいたま市は、外国籍の住民が増加の傾向にあります。「誰一人取り残さないサービス」のために重要な取組と考えております。	北図書館長 (図書館ビジョン実施計画作成部会 部会長)
1(4)専門的職員の養成による図書館サービスの質の向上	司書資格が全てではありませんが、もう少し増えてほしい（ごく基本的な資料について話を通じず、困ったことがありました。） パソコンのスキルは大切ですが、それ以前に図書館員として学ぶことがたくさんあるはず。	大井委員	図書館職員は市民の皆様の期待に応えられるよう、研修等、育成に取組んでまいります。	北図書館長 (図書館ビジョン実施計画作成部会 部会長)
1(5)図書館評価と市民意識の反映	図書館に来ている人だけではなく、来ていないor来られない人への何らかの手段で意識調査が必要だと思います。	大井委員	今後の課題と考えております。	北図書館長 (図書館ビジョン実施計画作成部会 部会長)
2(1)市民の多様な要求にこたえる資料の充実	外国語資料の収集はさらに積極的に。地元の専門家、研究者との協力関係を構築してはどうでしょうか。 ヘイト本、社会通念上疑義のある書籍については十分な配慮を望みます。	大井委員	市民の皆様のお知恵をお借りしながら、資料の充実につとめてまいります。	北図書館長 (図書館ビジョン実施計画作成部会 部会長)
2(2)情報発信による図書館利用の促進	利用者の年齢層、志向は様々です。パソコン・スマホだけでなく、古典的な情報発信・宣伝方法も丁寧にお願いしたいと思います。	大井委員	電子情報と同時に、ポスターやチラシ、市報などでの広報を行い、誰もが情報を得ることができるよう進めてまいります。	北図書館長 (図書館ビジョン実施計画作成部会 部会長)
2(3)講座等の催しと市民の交流の場の提供	他の社会教育施設とさらに共同して、事業展開を図ってください。さいたま市なら、かなりの規模と内容が期待できそうです。	大井委員	ご期待に沿えるよう、取組んでまいります。	北図書館長 (図書館ビジョン実施計画作成部会 部会長)
2(4)資料の紹介による本との出会いの創出	これからも楽しみにしています。	大井委員	ありがとうございます。さらに充実をはかってまいります。	北図書館長 (図書館ビジョン実施計画作成部会 部会長)
2(5)安全で快適な環境の整備	図書館サービスの根本を支える大切な部分です。教育委員会では学校施設優先となりがちですが、施設の特性、経年劣化等を把握して、財政上の措置をしっかりと裏付けてください。	大井委員	安全で快適にご利用いただけるよう、取組んでまいります。	北図書館長 (図書館ビジョン実施計画作成部会 部会長)
3(3)家庭・学校等との連携による子どもの読書活動への支援	読書は、数を競うようなものではないと考えます。数字を追うことは避けたい。	大井委員	おしゃるとおりだと思います。「さいたま市子ども読書推進計画（第三次）」では、「調査期間に1冊でも本を読んだか」を測っておりましたが、第四次から「読書が好きか」を測ることにいたしました。読書が好きな子どもが増えるよう取組んでまいります。	北図書館長 (図書館ビジョン実施計画作成部会 部会長)
4(1)地域の歴史と文化の保存	地域資料、行政資料、地元ゆかりの作家の資料は郷土の特色を表すものではあるが、資料としての性格は異にする。それぞれについて記述が欲しいと思います。	大井委員	ご意見を反映いたします。	北図書館長 (図書館ビジョン実施計画作成部会 部会長)



### 3 「第2期さいたま市図書館ビジョン実施計画（案）」について

議題・報告事項	質問・意見内容	質問者	回答	回答者
4(1)地域の歴史と文化の保存	各地に残る神社 氷川神社、鷲神社、小野神社などの来歴と年中行事や祭についての資料を収集して欲しい。 武蔵国造と大和朝廷との関係に関する資料を収集して欲しい。 古墳に関する資料を収集し、さいたまで活躍した人々に関する資料を収集して欲しい。 武蔵七党と武士団に関する資料を収集し、神社がこれとどう関係したのか資料を収集して欲しい。	馬場委員長	地域に関わる資料は広く収集し、後世に伝えるために保存してまいります。	北図書館長 (図書館ビジョン実施計画作成部会 部会長)
4(2)市民との協働による地域交流の活性化と永続的な交流の場の提供	ボランティアが一番近い理解者です。互いに節度と信頼をもって、よい関係を保ちたいものです。	大井委員	図書館の活動にはボランティアの皆さんのご協力は不可欠と考えております。さらに協働を推進したいと考えています。	北図書館長 (図書館ビジョン実施計画作成部会 部会長)
4(3)市の各部署との連携による市民生活の向上	行政への資料と情報の提供は基本的な役割のひとつです。図書館への理解にもつながるので、ご尽力をお願いします。行政サイドの職員との良好な関係構築にも結び付きます。	大井委員	市内各部署との連携は、積極的に取組んでまいります。	北図書館長 (図書館ビジョン実施計画作成部会 部会長)
p.8 専門的職員の養成による図書館サービスの質の向上	図書館員の育成という点も大事にしていきたいと思えます。	鷲見委員	司書以外の職員の育成にも取組むとともに、自己学習に意欲的に取組むモチベーションの確保にも気を配ってまいります。	北図書館長 (図書館ビジョン実施計画作成部会 部会長)
p.12	今後の取組みの方向性で図書館の効果的な利用方法の講習やオンライン講座等の開催とありますが、このような機会を増やして多くの方へ“図書館の良さ”をアピールしていただきたいと思えます。	小澤委員	図書館の良さを市民の皆様にも実感していただけるよう、様々な取組のPRに努めてまいります。	北図書館長 (図書館ビジョン実施計画作成部会 部会長)
p.20	資料のデジタル化も進む中、これらを実際に利用する手段として、もう少し、端末機器等の設備の拡充が望まれます。Wi-Fiサービスも進められている様ですが、未だ、全ての利用者が端末機器を持っている状態ではありませんので、図書館で利用できる機器が、もう少し充実することが望まれます。この点については、各館の格差が大きいのですが、さらに、もう少し地域に密着した、公民館等でのアクセス環境が充実すれば利便性が高まると思えます。公民館やコミュニティセンターの数は、図書館の倍以上ありますので、利用者が足を運び易い場所です。これらの施設に、端末機器を利用できる視聴覚スペースを設け、図書館の資料にアクセスしたり、公園や朗読会等の同時配信を受けられるように出来れば、距離的な問題で図書館を利用しにくい市民にとっても利便性が高まると思えます。市の各部署との連携も計られているようですが (p.20) 実際にすべての市民が利用しやすいシステムという観点での連携にも期待したいと思えます。	木村委員	現在、各図書館にはインターネット閲覧用の端末機が合計83台設置されております。各公民館には主に施設予約システムを利用するために同様の端末機が設置されております。 この端末機はインターネット閲覧もできるようになっていますので、図書館のページから電子資料や図書館で作成した動画などを閲覧することができます。 今後は広報も含め活用の促進を図ってまいります。	北図書館長 (図書館ビジョン実施計画作成部会 部会長)

### 3 「第2期さいたま市図書館ビジョン実施計画（案）」について

議題・報告事項	質問・意見内容	質問者	回答	回答者
p.28	令和2年度が、様々な点で運営困難であった為、令和元年度までの実績は把握できていても、そこから令和3年度以降への展望が実感しにくいことが残念です。しかしながら、困難な状況の中でも、電子書籍や音楽配信サービスの利用が進み、web上のコンテンツが充実する等（p.28）怪我の功名とも言えそうな展開で、新しい局面に充実が見られたのは、素晴らしいことと思います。	木村委員	ありがとうございます。 急速に進む技術革新の動向も捉えながら、新しいサービスを考えてまいります。	北図書館長 （図書館ビジョン実施計画作成部会 部会長）
p.30 サービス拠点の整備	「平成17年度には20館203人だった職員を、令和元年度には177人に削減しました」と記述がありました。 民間活力の導入により職員が削減できたという事なのだと思いますが、図書館の正規職員を減らすことが一概には良いとは私は思いません。多くの図書館職員がいることは、将来有能な図書館員になる人材が多くなるという事であり、図書館の基盤を作ることでもあるように思います。	驚見委員	継続して良いサービスを提供できるよう、図書館司書の確保と育成に取り組んでまいります。	北図書館長 （図書館ビジョン実施計画作成部会 部会長）
資料編4	PDCAサイクルは、工場などで工程・品質管理等のために開発された手法=企業経営手法の一つだったでしょうか。 それと行政の教育機関である図書館に応用するのは折々に検討が必要だと思います。	大井委員	さいたま市図書館では毎年度、実施計画に基づき図書館評価を行っております。ただ評価するだけでなく、以降の図書館運営に反映していくことは、一定の意義があるものと考えております。図書館における市民への効果測定は難しいものと承知しておりますが、アンケート他、様々な手法を用いて向上を図ってまいります。	北図書館長 （図書館ビジョン実施計画作成部会 部会長）
その他	市報さいたま2月号の特集「図書館に行こう」はよい企画でした。ページ数が少なくて残念でしたが、石川先生のお人柄もよく出ていて、面白く拝見しました。次回はぜひ、大学生だけではなく、広い世代の利用者を登場させてください。	大井委員	ありがとうございます。 次の機会の参考とさせていただきます。	北図書館長 （図書館ビジョン実施計画作成部会 部会長）
その他	一年以上になるコロナ対策、本当におつかれさまです。引き続きよろしく申し上げます！	大井委員	ありがとうございます。 安心してご利用いただけるよう取り組んでまいります。	北図書館長 （図書館ビジョン実施計画作成部会 部会長）
その他	今期、図書館が「地域の知の拠点」のみならず、「新しい時代の新たな学び」を与える方向性を示されて良かったと思います。 コロナ禍の時代、これからも続くであろう人と人とのつながりが希薄になり、ものにも人にも接触しない日々、本のページをくることによって、つながりを感じられるのではないのでしょうか。 子どもも大人も本に親しんで心を豊かにしていきたいと思います。 今、子どもたちも忙しく、図書館に行くのは調べ物学習の時だけという話も聞きます。読み聞かせの時間も年々少なくなり、どうしたものかと思っています。 高校生との交換展示などはおもしろく思っています。	加藤委員	ありがとうございます。 現在は読書以外に手軽に楽しむものがある時代と認識しております。そんな中でも私たち図書館員は、本の持つ力を伝え、読書の喜びを伝えてまいりたいと思います。	北図書館長 （図書館ビジョン実施計画作成部会 部会長）

### 3 「第2期さいたま市図書館ビジョン実施計画（案）」について

議題・報告事項	質問・意見内容	質問者	回答	回答者
その他	<p>ビジョン実施計画(案)について異議はありません。</p> <p>実施には多くの課題があり、職員の方々は日常業務がより多忙を極めるのではないかと心配になります。</p>	鷲見委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>効率的に高い効果が得られるよう、取組んでまいります。</p>	北図書館長 (図書館ビジョン実施計画作成部会 部会長)
その他	<p>令和2年度図書館利用に関するアンケート集計結果によれば20歳代の利用者が少ないので、若者向けの「図書館部」の開催など期待します。</p>	小澤委員	<p>若者に向けた取組もさらに進めてまいります。ありがとうございます。</p>	北図書館長 (図書館ビジョン実施計画作成部会 部会長)
その他	<p>特段ありませんが、今日、今後、行政課題・需要が膨大となり、人口減少も始まり、財政も逼迫度の増す流れの中で、知的欲求度の向上に基づく政策は、後ろに退けられること必定です。ぜひ図書館関係者のご尽力を心から願ってます。埼玉の中核都市としてリードオブマンを発揮してください。期待とともに応援していま〜す！！</p>	松岡委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>図書館は地域の知の拠点であり、知の向上が生活の向上、社会の向上につながるものと考え、力を尽くしてまいります。</p>	北図書館長 (図書館ビジョン実施計画作成部会 部会長)

#### 4 第2期図書館評価における目標指標及び目標値（案）について 質問・意見に対する回答

議題・報告事項	質問・意見内容	質問者	回答	回答者
表	令和元年の実績値が空欄になっている項目は、名称の変更等があった指標とと思われますが、令和3年度の目標値を設定するに当たり、実際には、元	木村委員	御指摘のとおり、令和元年度の実績値を元に数値を算出しております。	与野図書館長 (図書館評価専門部会長)
表	数値に無理はないと思います。	驚見委員	ありがとうございます。設定した数値目標の達成を目指して、事業に取り組んでまいります。	与野図書館長 (図書館評価専門部会長)
表p.2	目標指標の項目数に、大幅な変更があった模様ですが、数値化した評価を市民に伝えるには、このくらいに絞ったほうが、結果が分かり易く、良い判断と思われます。	木村委員	ありがとうございます。新たな図書館ビジョンがスタートするにあたり、主な17の図書館業務に厳選し、わかりやすい図書館評価を目指しました。	与野図書館長 (図書館評価専門部会長)
基本的方向性2 本と人がつながる図書館 (2) 情報発信による図書館利用の促進 7 貸出総数	(2) 貸出総数が令和3年度9,798,000点と540,000点も目標数が上がっていますが、高いように思います。 (コロナ禍で思うように借りられません)	加藤委員	令和3年度から始まる総合振興計画で取り上げる図書館事業の中に「図書・雑誌・視聴覚資料・電子書籍の個人貸出点数」という目標指標があります。これは図書館評価でいう「貸出総数」のことです。貸出総数は図書館の利用度を最も端的に表すデータとして考えられるため、第2期図書館評価でも採用し総合振興計画と同じ目標値を使用しています。「目標値が高いように思う」との御指摘ですが、令和3年度以降の目標値については新型コロナウイルス感染症が発生する前に策定されたため、高い目標値となっております。	与野図書館長 (図書館評価専門部会長)
基本的方向性2 (2) 情報発信による図書館利用の促進 7 貸出総数	令和元年度の実績値と令和3年度の目標値では50万点以上の差があります。 次期総合計画に計算した数値とはいえずいぶん差がありますが、無理はないのですか。	小澤委員	加藤委員へのお答えと同様となりますが、令和3年度から始まる総合振興計画で取り上げる図書館事業の中に「図書・雑誌・視聴覚資料・電子書籍の個人貸出点数」という目標指標があります。これは図書館評価でいう「貸出総数」のことです。貸出総数は図書館の利用度を最も端的に表すデータとして考えられるため、第2期図書館評価でも採用し総合振興計画と同じ目標値を使用しています。「目標値が高いように思う」との御指摘ですが、令和3年度以降の目標値については新型コロナウイルス感染症が発生する前に策定されたため、高い目標値となっております。	与野図書館長 (図書館評価専門部会長)
指標番号 9 テーマ資料展示	本の展示だけでなく、ブックトークも絡めると面白いかもしれませんね。	驚見委員	御提案ありがとうございます。ブックトークは、目標指標「おはなし会の開催回数」に含まれる事業になるものと考えており、その中で本の展示を実施する場合もございます。これは御提案の趣旨に沿うものと考えます。これからも幅広い世代に向けて本の新たな出会いを数多く演出してまいります。	与野図書館長 (図書館評価専門部会長)
基本的方向性3 (2) 子どもの世界を広げる資料の紹介 (3) 子どもの世界を広げる資料の提供	令和4、5、6、7となぜ作成数を上げていかないのですか？	志村委員	ブックリストは、作成数は同じでも、新たなリストを作成しております。全図書館を合わせて、作成する点数としては、概ね十分な水準に達していると考えております。そのため、作成点数を維持する目標としております。	与野図書館長 (図書館評価専門部会長)
基本的方向性4 指標番号16, 17	さいたま市各所管との連携機関とありますが、例えばどんな所ですか。 市以外の自治体及びNPO等民間との連携機関とありますが、例えばどんな所ですか。	小澤委員	令和2年度の実績によりますと、さいたま市所管の関連機関としましては、各公民館、コミュニティセンター、博物館、市立高校等がございます。また、市以外の自治体、NPO等民間では、県内の大学、県立高校、日本政策金融公庫、NPO岩槻まちづくり市民協議会等がございます。	与野図書館長 (図書館評価専門部会長)

#### 4 第2期図書館評価における目標指標及び目標値（案）について 質問・意見に対する回答

議題・報告事項	質問・意見内容	質問者	回答	回答者
その他	<p>「市民の課題解決に役立てられる資料の充実につき」</p> <p>個人の課題や興味のある事務棟を吸い上げて、その解決に貢献できる様な資料を充実していただきたい。</p> <p>ex.「歴史」「生物」「宇宙学」等</p>	馬場委員長	<p>図書館の窓口における利用者からの質問や来館者アンケートによって、資料に対する要求や傾向を把握し、市民の課題解決に役立てられる資料の充実に努めてまいります。</p>	与野図書館長 (図書館評価専門部会長)
その他	<p>評価専門部会の方々には、この大変な作業をお劳いしたいと思ひます。</p> <p>その上でですが、図書館サービスを数値化し、評価するのはむづかしい部分が多いのではないのでしょうか。</p> <p>具体的な文章で表したほうが、何よりも市民にわかりやすいと思ひます。また、バリアフリー資料の増加などについてはそれを必要な方々に周知して、初めて目標達成とするべきでしょう。誰を納得させるための数値化なのか、以前から疑問に思っています。数値に一喜一憂することなく、のびのびと充実したサービスにあたってくださることを望みます。</p>	大井委員	<p>ご指摘のとおり、数値より文章がわかりやすい面はあると思ひます。数値だけではなく、文章による説明を心掛けてまいります。バリアフリー資料にかかるご指摘につきましても、数値目標の達成だけではなく、必要とされる方々への周知も念頭に置いてサービスに努めてまいります。「数値に一喜一憂することなく、のびのびと充実したサービスにあたることを望む」との指摘についても、参考とさせていただきます、図書館サービスを推進してまいります。</p>	与野図書館長 (図書館評価専門部会長)
その他	<p>より多様な"生涯学習活動"の前進のため、学校関係者とのなご一層の緊密化にこころがけてください。</p> <p>将来を担う子供たちのためにも1つの粒が大木に。一滴のしずくが大河となるーそれが教育の原点ですので……！</p>	松岡委員	<p>将来を担う子どもたちの豊かな心と生きる力をはぐくむために、学校や関係者と連携して読書の楽しさや大切さを知ることができるよう、取り組んでまいります。</p>	資料サービス課長 与野図書館長 (図書館評価専門部会長)